

Agile Kata

アジャイルの
カタ



アジャイルを継続的に改善するための
共通パターン

本当の変革を実現するために
アジャイルマインドセット駆動により
科学的思考を定着させる

アジャイルのカタ

アジャイルのカタ (Agile Kata) は、変化を乗りこなし、個人、チーム、組織全体が適応力を養うための実践的で繰り返し可能なパターンです。アジャイルのカタは厳格で規範的なプロセスアプローチではなく、目的のある実験を通じて進歩を導く、科学的思考に基づいています。

アジャイルのカタの中核となるパターンは、課題を定義し、現状を把握し、次の目標を設定し、そこに向かうための実験という4つのステップで構成されています。このリズムを繰り返し続けることで新たな習慣が生まれ、焦点が明確になり、レジリエンスが養われます。

アジャイルのカタは、作業のやり方を規定するのではなく、チームが共に考え、学ぶ方法を改善するのに役立つものです。

実証できる進捗

武道に根差した「カタ (型・形)」とは、熟達に至るまでの構造化された反復実践のことです。アジャイルのカタは、この原則を仕事の現場に適用し、新しい習慣を身につけ、共有学習を促し、本当の進歩を推進する実証済みのやり方を提供するものです。

アジャイルのカタは、フレームワークや万能なソリューションではありません。むしろ、チームが課題に明確に対処し、エビデンスに基づいて意思決定を行い、実験を通じて改善を行うのに役立つ実証済みのパターンなのです。

業界やチーム構成に問わず、アジャイルのカタは再現性のある結果をもたらします。これにより、人々は意図を持って仕事をし、自信を持って適応し、一歩ずつ考え方を進化させることができます。これは複雑さではなく、よく実践された習慣のシンプルさによる威力です。

深く考える

アジャイルのカタは、スクラムやカンバンのようなプロセスフレームワークではありません。役割やフローを定義するものではなく、課題に直面したときの考え方や行動のパターンを刷新するものです。

フレームワークとは構造を提供するものですが、カタは考え方を構築するものです。一貫した実践を通じて、チームは内省、実験、エビデンスに基づく意思決定の習慣を身につけます。チームは承認や規範的な役割を必要とせず、自己組織化し、より効果的に協力し合い、目的を持って適応させることを学びます。考え方を覚えることで、チームはより創造的、意図的になり、共有されたオーナーシップを持って仕事を始めることができます。

カタは、フレームワークに取って代わるものではありません。人々がフレームワークを超えて成長するのを手助けするものです。

書籍



NEW

誰のためのものか

アジャイルのカタは、デリバリーする成果のみならず、仕事の改善も目指すあらゆる人たちのためのものです。

- よりよい習慣を身につけ、より効果的に問題を解決したいチーム
- 継続的な改善を支援するコーチやファシリテーター
- 変化へと導く、軽量で適応性の高い方法を探しているリーダー
- プロセスの順守から、本当の進化へと前進する準備ができている組織



考案者

Joe Krebs氏は、アジャイルのカタの考案者でありコーチ、トレーナー、講演者、そして作家でもあります。彼の仕事は、世界中のチームに科学的思考と適応性のあるプラクティスをもたらしています。

翻訳者

長沢智治。Agile Kata Pro認定トレーナーであり、サーバントワークス株式会社代表取締役。



「ゴールのレベルまで上がることはできない。
仕組みのレベルまで落ち込むのだ」

James Clear Author of Atomic Habits



アジャイルのカタはまさに
その仕組みであり、学び、
応用し、先導しましょう

次のステップへ

アジャイルのカタのパターンを日々実践している学習者、コーチ、リーダーたちによる成長し続けるコミュニティ:

- agilekata.pro (英語公式)
- agilekata.jp (日本語)

にアクセスしてください。



認定研修・試験